

2026 年 5 月 10 日(日)集会へ

講演「ドラマでたどる韓国社会 ～家族制度とフェミニズム～」

山下 英愛 さん (文教大学教授)



韓国ドラマに魅せられた方はたくさんいるのではないのでしょうか。

宮廷女官チャングムの誓いや善徳女王、トンイなどの時代劇や

冬のソナタや黄色いハンカチ、がんばれ！クムスンなどの現代劇等。

講師の山下英愛さんは著書「女たちの韓流」の中で、「韓国ドラ

マには人生の哀歓が込められている。朝鮮半島の歴史と文化、人々の

息吹が溶け込んでいる。」と述べています。

ドラマをとおして、戸主制度の『姓不変の原則』に苦しんだ女性た

ちや、ドラマが戸主制度廃止の機運を盛り上げることに貢献、新しい

個人登録制度のことなども描かれています。差別と蔑みの対象だった

非婚の母と婚外子。上記制度の改革によって、積極的に婚外子を育て

る非婚の母が登場しているとのこと。最近ではどのような現実が反映

しているのか、お話をお聞きするのがとっても楽しみです。

資料代 500 円

日時 2026年5月10日(日)

午後1時30分開始 午後4時半終了

会場 東京ウイメンズプラザ・視聴覚室(1F)

- 地下鉄表参道駅B2出口から徒歩7分 •渋谷駅から宮益坂口から徒歩12分
- 都バス(渋88系統) 渋谷駅から2つ目(4分) 青山学院前バス停から徒歩2分

主催 なくそう戸籍と婚外子差別・交流会

E-mail kouryu2-kai@ac.auone-net.jp

電話&FAX 0422-90-3698 (留守電対応)

<山下英愛さん紹介>

1959年生まれ。在日朝鮮人の父と日本人の母との間に生まれる。

多摩美術大学(絵画科)、津田塾大学(国際関係学科)卒業。

1996年梨花女子大学大学院女性学科博士課程修了。

博士(国際関係学/立命館大学)。

専門は女性学、韓国文化論。

韓国留学中、挺対協(韓国挺身隊問題対策協議会)で活動。

2000年代末から韓国ドラマに関する研究を行ってきた。

最近は北朝鮮(DPRK)のジェンダーに関心をもって研究会活動を行っている。

現在、文教大学文学部教授。

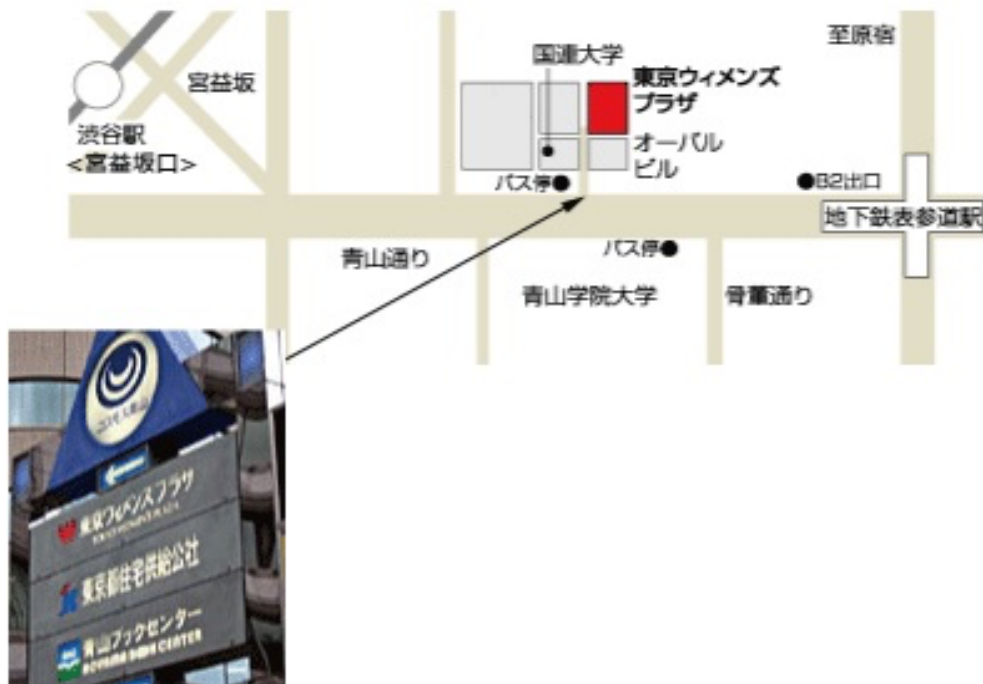
<著書>

『ナショナリズムの狭間から～「慰安婦」問題をみるもう一つの視座』(明石書店、2008)

『女たちの韓流～韓国ドラマを読み解く』(岩波新書、2013)

『新版 ナショナリズムの狭間から～「慰安婦」問題とフェミニズムの課題』(岩波現代文庫、2022)

<会場案内図>



青山通り（国道 246 号線）オーバルビルの前にあるこの看板が目印です。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67